

岡山市下水道事業における
ウォーターPPP導入検討に関する
第二回サウンディング型市場調査について
(説明会資料)

令和8年1月30日

岡山市下水道河川局 下水道施設部 下水道施設管理課

本調査の主旨

主旨

本調査は、岡山市（以下「本市」）が公共下水道事業及び農業集落排水事業におけるウォーターPPP（官民連携）の導入を検討するにあたり、民間事業者の皆様から幅広いご意見やご提案をいただくことを目的とした「サウンディング型市場調査」です。

前年度行ったサウンディング型市場調査を踏まえて想定しているウォーターPPP事業スキームについて、再度民間事業者の皆様にご意見・ご要望をお伺いし、対象事業（公共下水道事業、農業集落排水事業）、対象施設（処理場、管路、マンホールポンプ等）、業務内容等を整理し、導入の可否を判断するうえでの参考とするものです。

本調査を踏まえて導入可能な事業スキームを確定し、次年度以降に公募に向けた準備を進めていく予定としています。

ウォーターPPP導入スケジュール（予定）

ウォーターPPPの導入に向けた現時点でのスケジュールは下記のとおりとなっております。

今回の第2回市場調査を踏まえて検討を行い、**導入可能な事業スキームを確定**します。

令和8年度より公募の準備へと移行し、**要求水準書の作成等**や、

本調査で参画意欲を示していただいた事業者への**個別ヒアリング等**を行っていく予定です。

令和9年度末にウォーターPPPの公募、**令和11年度**からのウォーターPPPの導入開始を想定しています。



目次

- 1. 岡山市全体の公共下水道事業及び農業集落排水事業について**
- 2. 想定事業内容**
- 3. サウンディング型市場調査について**

1. 岡山市全体の公共下水道事業及び 農業集落排水事業について

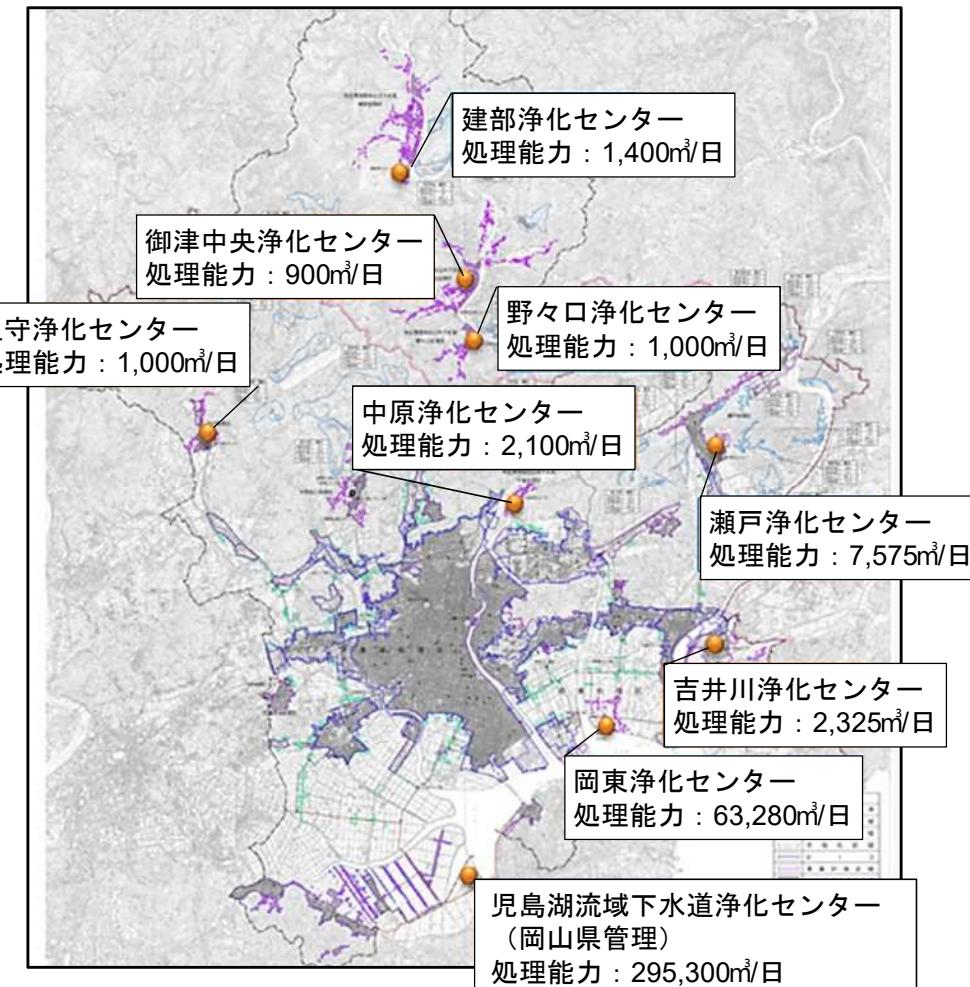
1. 岡山市全体の公共下水道事業

公共下水道事業の概要

- ・下水道普及率：69.3%（令和6年度（2024年度）末時点）
- ・処理区数：全9処理区（単独公共下水道8処理区、流域関連公共下水道1処理区）

	面積(ha)	人口(人)
市全域	78,995	693,219
全体計画	12,163	564,160
事業計画	11,453	541,120
供用開始	8,184	480,723

- ・市全域、供用開始の面積及び人口は令和6年度末時点の値
- ・全体計画、事業計画の面積及び人口は計画値
- ・下水道普及率は下式による算出値
算出式 = (供用開始人口 / 市全域人口) × 100



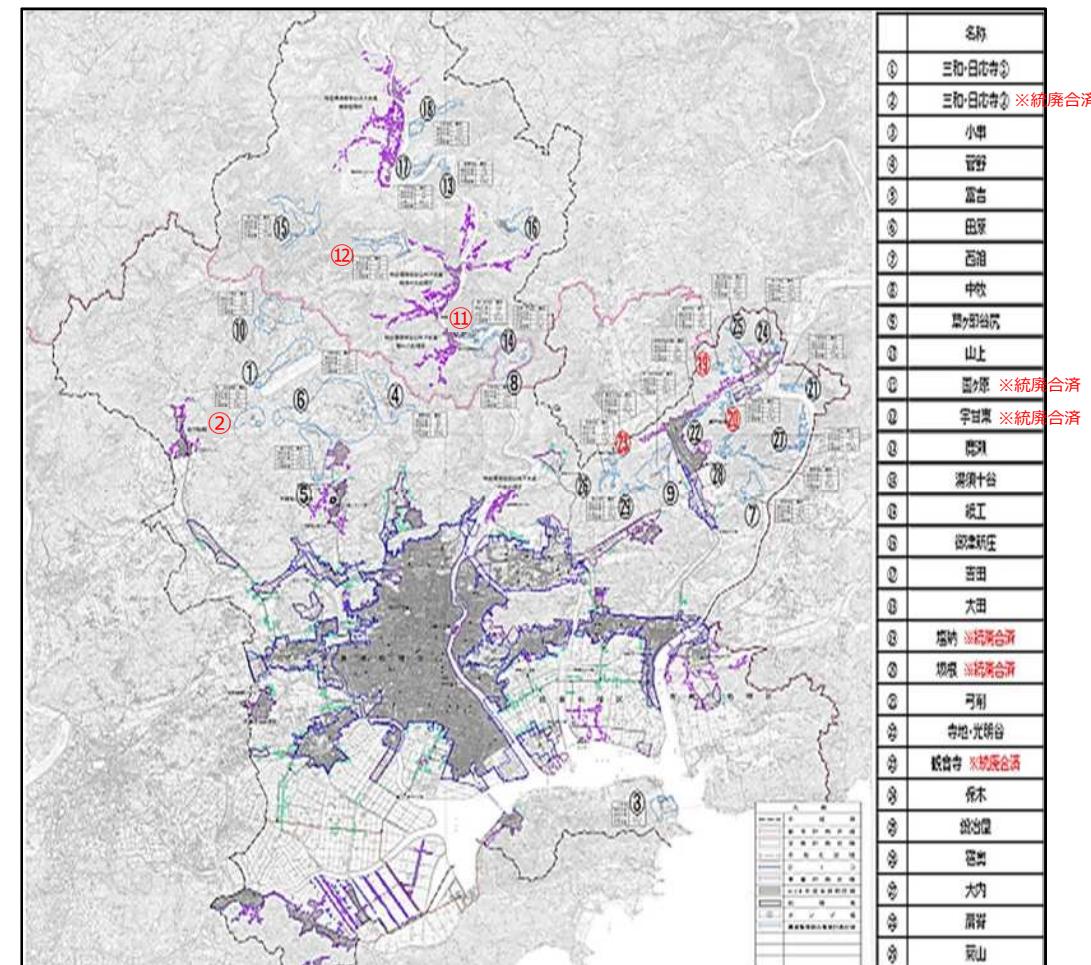
1. 岡山市全体の農業集落排水事業

農業集落排水事業概要

- 地区数：現在23地区（当初整備29地区のうち6地区の統合が完了）
今後も統廃合については計画的に進めていく予定

	面積(ha)	人口(人)
市全域	78,995	693,219
全体計画	238.9	9,110
事業計画	238.9	12,770
供用開始	223.3	5,882

- 市全域、供用開始の面積及び人口は令和6年度末時点の値
- 全体計画、事業計画の面積及び人口は計画値



1.岡山市の下水道事業の課題について

岡山市下水道事業等の課題

組織体制 (ヒト)



下水道部の職員数は減少傾向にあり、今後も同様の傾向が続ければ、
下水道機能・サービス水準の維持に影響

施設 (モノ)



耐用年数を超過する資産が増加してきており、**更新業務が増加**
(減っていく職員数で増えていく更新業務に対応する必要がある)

財政 (カネ)



維持管理費及び建設改良費の増加の一方で下水道使用料は減収する見込みであり、
市の財政状況は一層厳しくなる

官民連携手法の導入

このような状況の中、下水道事業の課題解決に資する**官民連携の取組**を推進

マンホールポンプ^پ包括

市内南部の一部地区における
マンホールポンプ 166か所を対象として
包括的民間委託を導入

(令和6年度から令和9年度までの4年間)

今後も安心・安全で持続可能な下水道サービスを提供するため、**ウォーターPPPを導入**し、
予防保全型維持管理へのレベルアップを目指す

2. 想定事業內容

2. 事業内容

現時点での事業内容

項目	事業内容
官民連携方式	管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5） 更新支援型
事業期間	10年間（予定期間：令和11年度～令和20年度）
対象エリア	北部エリア 公共下水道（建部処理区、御津中央処理区、野々口処理区） 農業集落排水（御津新庄地区、大田地区、紙工地区、湯須十谷地区、鹿瀬地区）
対象事業	公共下水道事業、農業集落排水事業
対象施設	対象処理区内の全ての施設（処理場、マンホールポンプ、真空式下水道システム、管路）
対象業務	各種維持管理業務、更新支援（更新計画案作成）

※想定事業内容の詳細については、説明会終了後にHPにて公開予定のサウンディング条件書をご確認ください。

2. 事業内容 ウォーターPPPの4要件

ウォーターPPPの4要件について

要件①長期契約

⇒ 事業期間は、**10年間**（令和11年度～令和20年度）を検討しています。

要件②性能発注

⇒ 発注方式は、**性能発注を原則**とします。ただし、**管路については、仕様発注から開始し、事業期間内に性能発注へと移行する方式**を検討しています。

要件③維持管理と更新の一体マネジメント

⇒ 本市では、**更新支援型**（コンストラクションマネジメントは含まない）による実施を検討しています。

要件④プロフィットシェア

⇒ **プロフィットシェアの仕組みを導入します。**仕組みの詳細（発動条件、配分比率など）は改定が予定されているウォーターPPPガイドラインの動向やマーケットサウンディングの結果を踏まえ検討します。

2. 事業内容 対象エリアについて①

ウォーターPPP事業の対象エリア

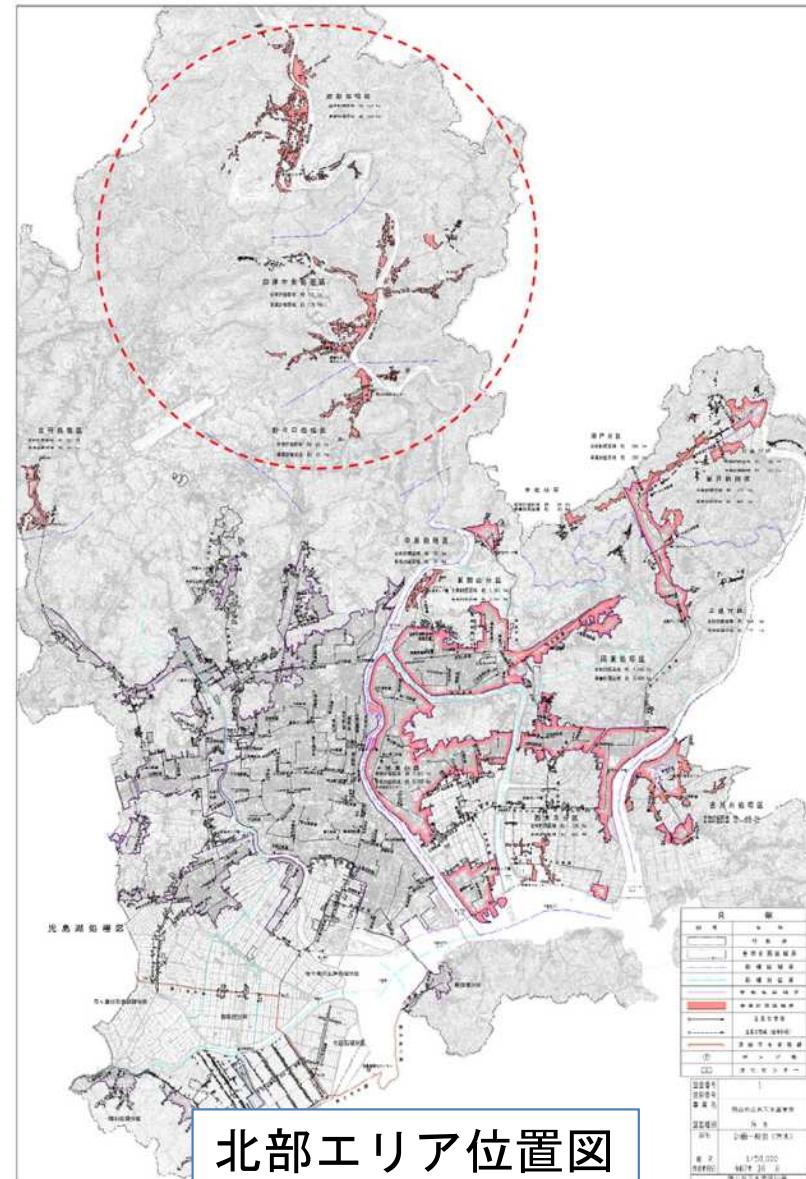
⇒ 事業規模などの観点から、比較的に建設が新しく、高い導入効果が期待できる北部エリアを対象とします。

また、維持管理体制の効率化による官民双方のメリットを期待して、近隣に位置する公共下水道事業と農業集落排水事業の他分野連携での導入を検討しています。

対象施設については処理場・管路・マンホールポンプ等（真空式下水道含む）すべての施設を対象としています。

北部エリア

- ・公共下水道
(建部処理区、御津中央処理区、野々口処理区)
- ・農業集落排水
(御津新庄地区、大田地区、紙工地区、湯須十谷地区、鹿瀬地区)

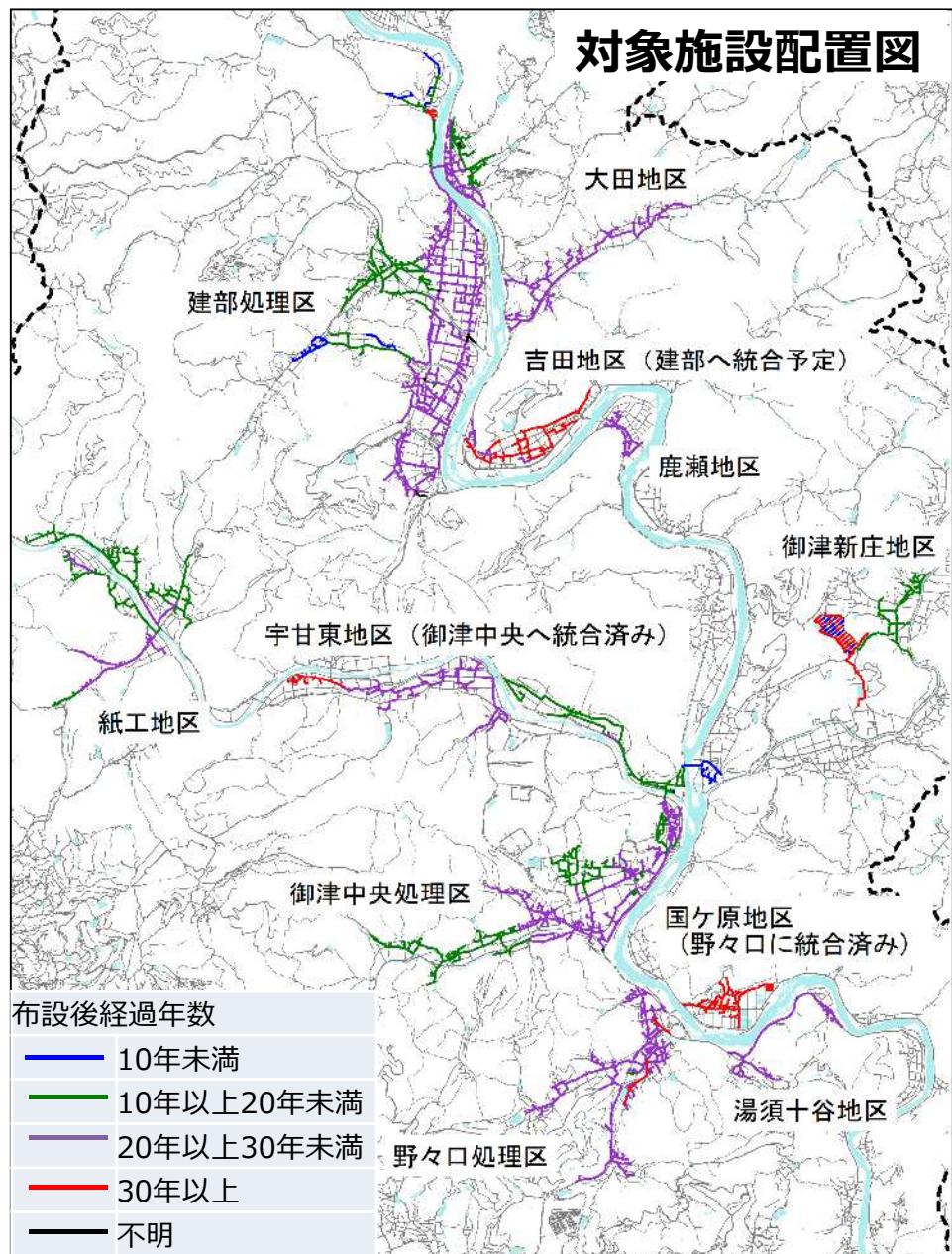


2. 事業内容 対象エリアについて②

現時点での対象施設（北部エリア）

対象施設	数量
①処理場	8施設 (公共3施設、農集5施設)
処理人口	8,557人 (公共7,131人、農集1,426人)
②マンホールポンプ	182か所 (公共143か所、農集39か所)
③真空式 下水道システム	1か所 (農集1か所)
④管路施設	約164.2km (公共126.3km、農集37.9km)
老朽化管割合 (50年経過)	0% (公共0%、農集0%)

※吉田地区については事業開始前に建部地区へ
統合予定であるため公共に含む



R7.10時点

2. 事業内容 対象エリアの維持管理に係る事業費実績

北部エリアの過年度の維持管理費実績

北部エリアの直近3年間の事業費実績は下記の通りです

※事業開始前に建部に統合予定の吉田地区は公共下水道に含む

単位：千円

対象施設	事業費実績（維持管理費）		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北部エリア全体（公共下水道事業+農業集落排水事業）			
処理場	119,755	110,876	144,843
マンホールポンプ（真空含む）	34,560	39,455	35,947
管路	2,100	6,720	5,766
維持管理費 計	156,415	157,052	186,556
北部エリア（公共下水道事業のみ）			
処理場	78,898	69,465	99,832
マンホールポンプ	16,505	24,351	23,104
管路	1,701	5,840	3,470
公共下水 計	97,104	99,656	126,406
北部エリア（農業集落排水事業のみ）			
処理場	40,856	41,411	45,011
マンホールポンプ（真空含む）	18,055	15,105	12,844
管路	399	880	2,296
農集排 計	59,310	57,396	60,150



2. 事業内容 対象施設① 処理場

①処理場

各処理場の名称及び現有処理能力

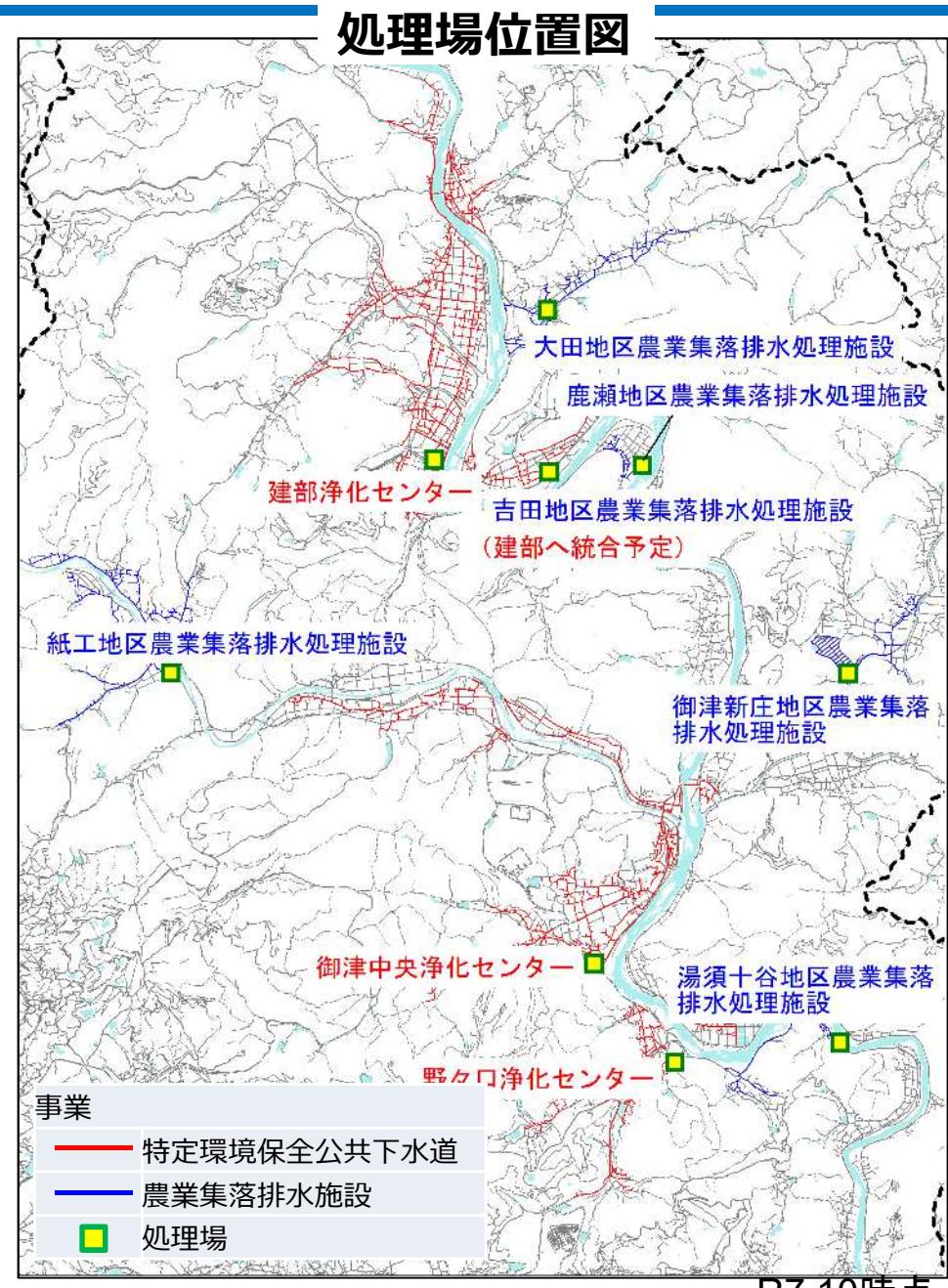
公共下水道事業

- 1 御津中央浄化センター (900m³/日)
- 2 野々口浄化センター (1,000m³/日)
- 3 建部浄化センター (1,400m³/日)

農業集落排水事業

- 1 御津新庄地区 (400m³/日)
- 2 大田地区 ※ (165m³/日)
- 3 紙工地区 (268m³/日)
- 4 湯須十谷地区 (45.9m³/日)
- 5 鹿瀬地区 ※ (64.8m³/日)

※大田地区、鹿瀬地区は令和16年度に建部処理区へ
統合する計画があります。



2. 事業内容 対象施設②マンホールポンプ

マンホールポンプ位置図

②マンホールポンプ

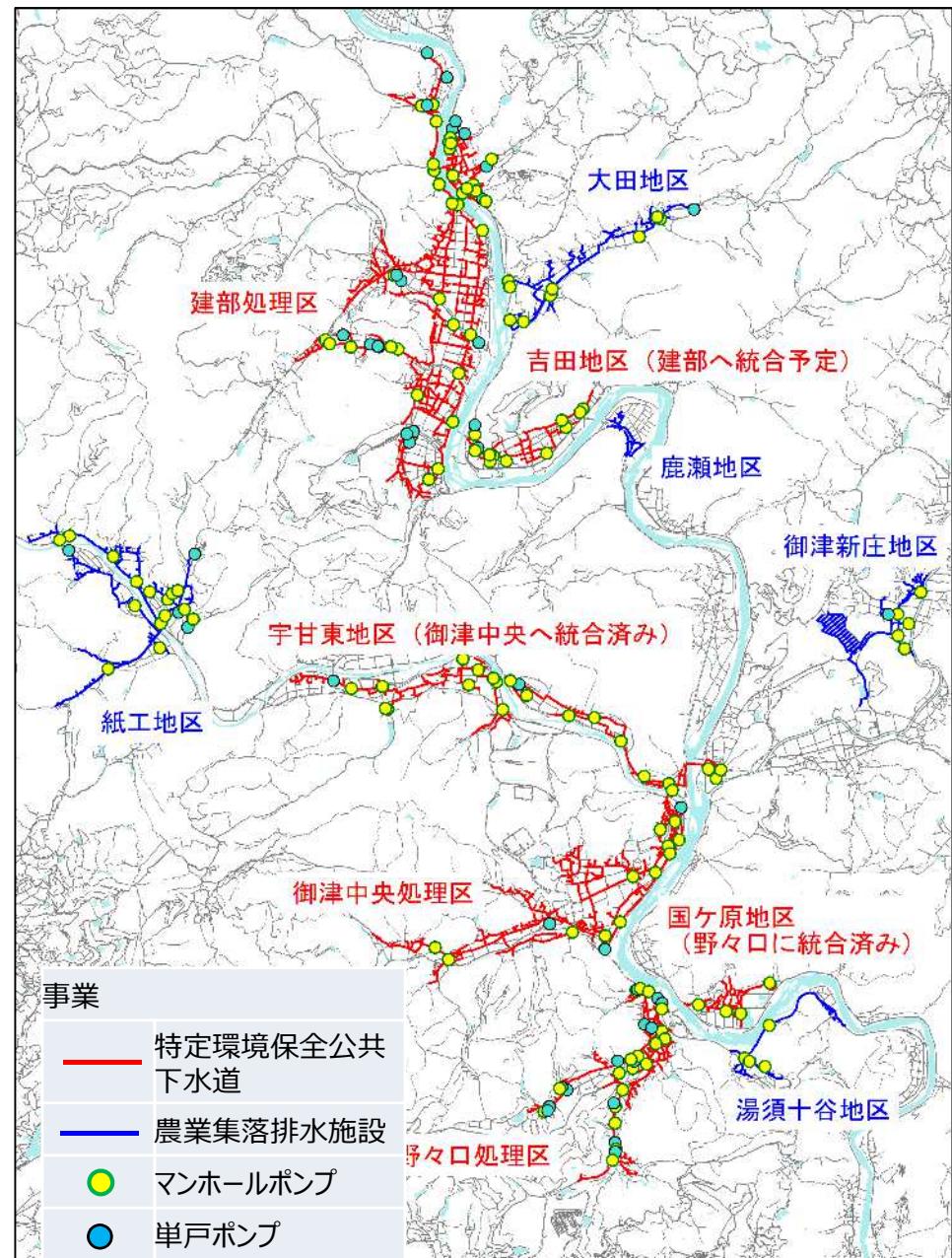
公共下水道

- 1 御津中央処理区 38か所
(統合済みの宇甘東地区を含む)
- 2 野々口処理 37か所
(統合済みの国ヶ原地区を含む)
- 3 建部処理区 68か所
(事業期間開始までに統合予定の吉田地区を含む)

農業集落排水

- 1 御津新庄地区 6か所
- 2 大田地区 ※ 10か所
- 3 紙工地区 19か所
- 4 湯須十谷地区 4か所
- 5 鹿瀬地区 ※ なし

※大田地区、鹿瀬地区は令和16年度に建部処理区へ統合する計画があります。



2. 事業内容 対象施設③ 真空式下水道システム

真空式下水道施設位置図

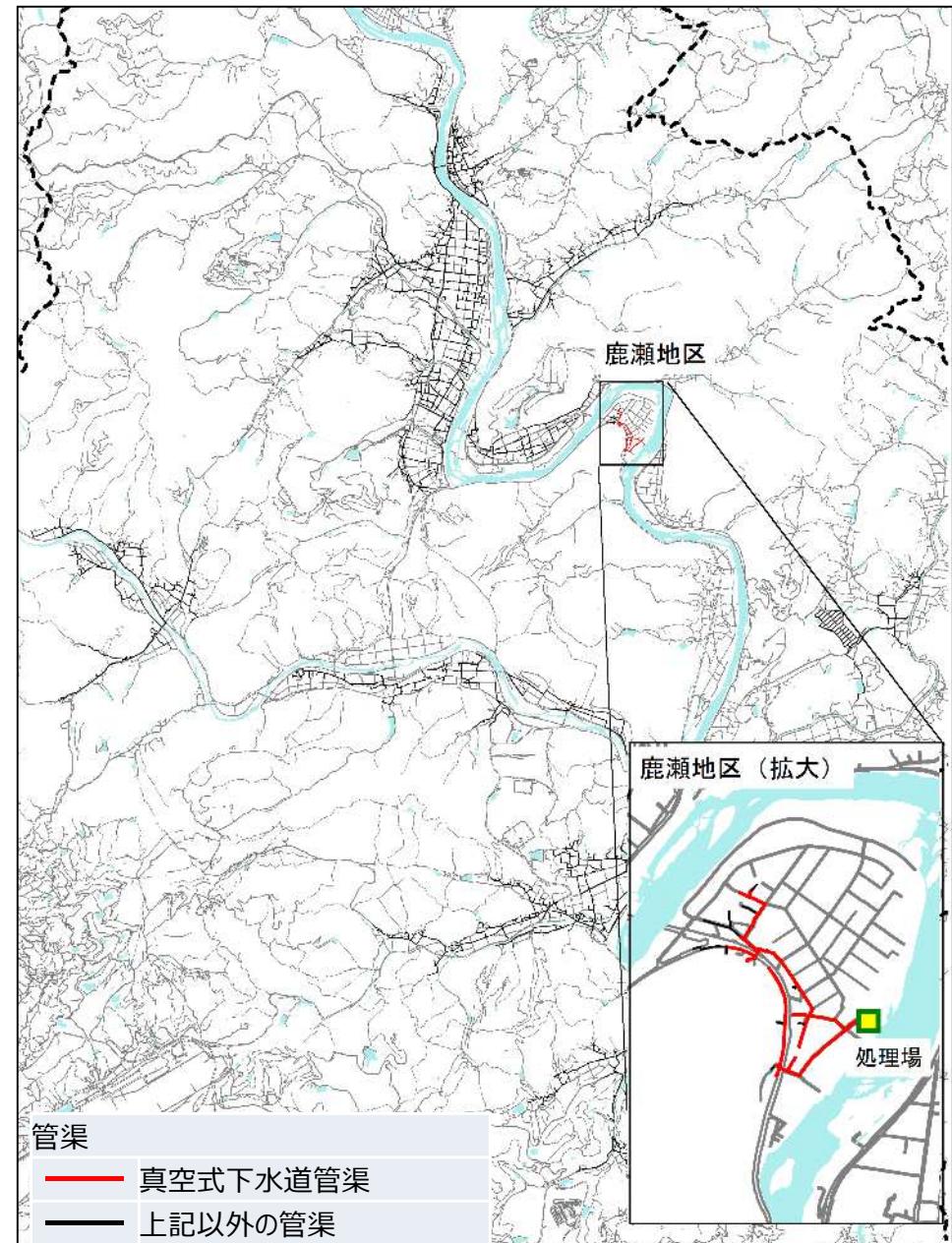
③真空式下水道システム

農業集落排水

1 鹿瀬地区 1か所

- ・真空ステーション 1か所
- ・真空桿 37 基
- ・真空式下水道管渠延長 約1.7km

※鹿瀬地区は令和16年度に建部(公共)へ統合する
計画があります。



2. 事業内容 対象施設④ 管路

事業別管路位置図

④管路(污水管、圧送管、真空管)

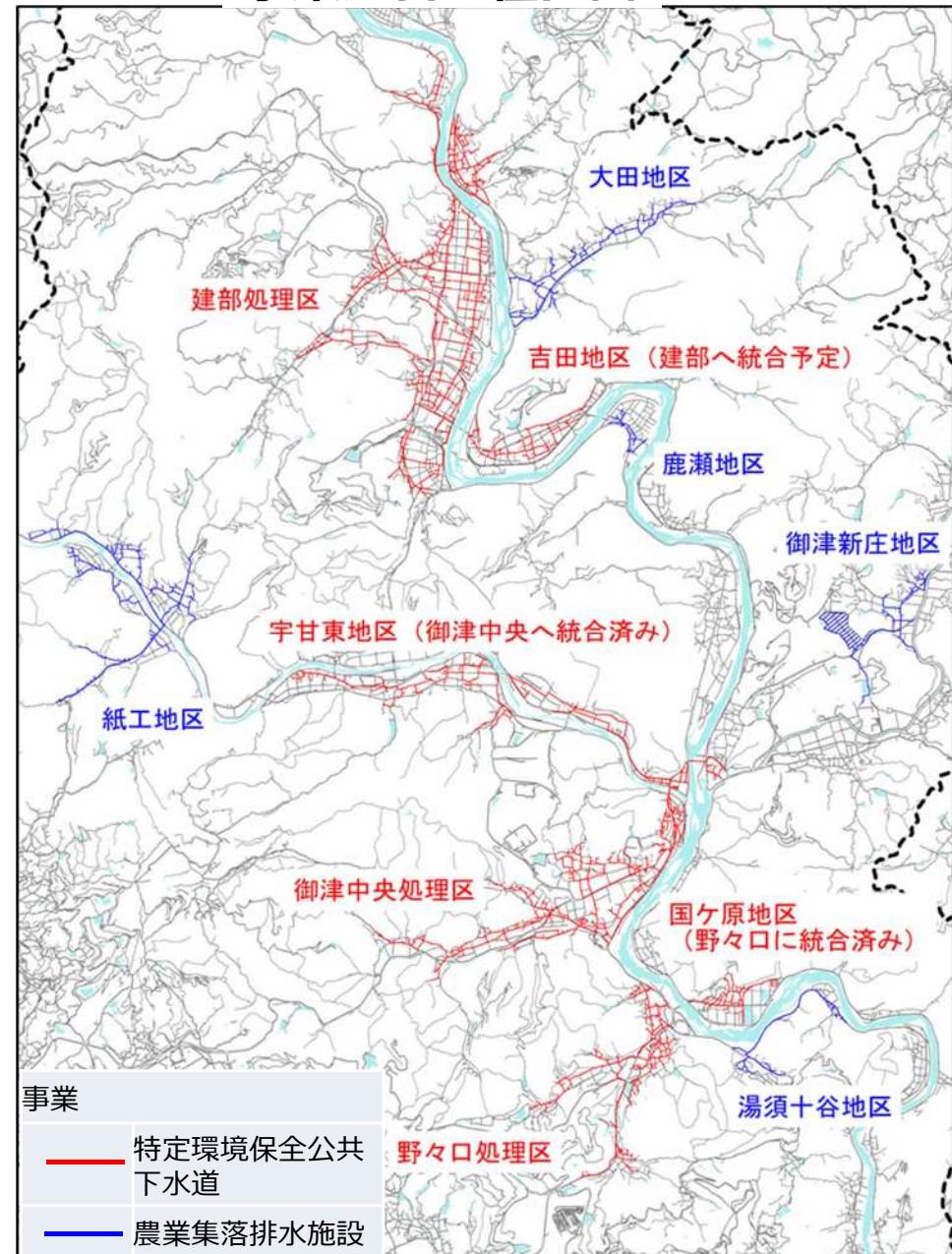
公共下水道

- 1 御津中央処理区 約45.2km
(宇甘東地区を含む)
- 2 野々口処理 約20.2km
(国ヶ原地区を含む)
- 3 建部処理区 約56.5km
(吉田地区を含む)

農業集落排水

- 1 御津新庄地区 約8.8km
- 2 大田地区 ※ 約8.7km
- 3 紙工地区 約14.2km
- 4 湯須十谷地区 約4.1km
- 5 鹿瀬地区 ※ 約2.1km
(うち、真空管約1.7km)

※大田地区、鹿瀬地区は令和16年度に建部処理区へ統合する計画があります。



R7.10時点

2. 事業内容 想定業務内容

現時点での想定業務内容

項目	想定業務内容
共通	統括管理業務、セルフモニタリング業務、災害対応業務（※） ※別途締結予定の「災害時維持修繕協定」に基づき実働時に随意契約することを想定
処理場	運転管理、保守点検、修繕、台帳データ管理、水質・汚泥試験及び分析、緊急対応、清掃、廃棄物管理・運搬・処分、ユーティリティ等調達、消耗品調達（部品、試薬等）、安全管理、通報・苦情対応、調査(更新計画案作成用)、更新計画案作成
マンホールポンプ (MP)	保守点検、修繕、台帳データ管理、緊急対応、清掃、廃棄物管理・運搬・処分、ユーティリティ等調達、消耗品調達（部品等）、安全管理、通報・苦情対応、調査(更新計画案作成用)、更新計画案作成
真空式下水道 システム	保守点検、修繕、台帳データ管理、緊急対応、清掃、廃棄物管理・運搬・処分、ユーティリティ等調達、消耗品調達（部品等）、安全管理、通報・苦情対応、調査(更新計画案作成用)、更新計画案作成
管路	保守点検、修繕、台帳データ管理、緊急対応、清掃、廃棄物管理・運搬・処分、消耗品調達（部品等）、安全管理、通報・苦情対応、調査(更新計画案作成用)、更新計画案作成

2. 事業内容 参画形態の例

ウォーターPPP（レベル3.5）への参画形態の類型

ウォーターPPP（レベル3.5）のウォーターPPP事業は単独事業者でも受託可能ですが、業務内容が多岐にわたるため、**共同企業体（JV）** や**特別目的会社（SPC）** 等での受託も考えられる。

類型	単独事業者	共同企業体（JV）	特別目的会社（SPC）
概要			
特徴	<ul style="list-style-type: none">複数の業務を一社で対応できる事業者に限られる	<ul style="list-style-type: none">組成が容易であり、中小規模事業者（地元企業を含む）でも比較的取組み易い	<ul style="list-style-type: none">地域内で専門企業が設立されるため、事業継続性や雇用安定性に優れる

3. サウンディング型市場調査について

3.サウンディング型市場調査について

サウンディング型市場調査（マーケットサウンディング）について

サウンディング型市場調査では、アンケート調査やヒアリング等により、民間事業者の皆さまから**対象事業や対象施設等に関するご意見**を広く求め、**事業内容等の検討に活用**することを予定しています。 **本調査では、アンケート調査票による調査**を行いますので、ぜひご協力くださいますよう、お願ひいたします。

ガイドラインでは、事業範囲とする処理区内の処理場、管路施設等を含めたすべての施設等を対象としない場合、サウンディング型市場調査等の、客観的な情報に基づいて整理することが定められています。

概要とポイント・留意点

対象施設や業務範囲を設定する際の考え方

- 「導入を決定済み」となる入札・公募の開始(募集要項等の公表)時点で、対象施設・業務範囲の設定が、少なくとも一つの処理区のすべての施設等ではない場合、管理者は客観的な情報に基づいて説明できる必要がある
- 客観的な情報として、例えば、導入可能性調査(FS)やマーケットサウンディング(MS)の選択肢に挙げて比較した結果や経過等が考えられる

概要とポイント・留意点

PPP/PFI手法選択GL(R5.3)

長期間の民間委託となるが、地元企業の参画可能性に配慮するにはどうしたらいいか？ ※次頁も参照

- 下水道事業は、地元企業の寄与によって成り立っていることも多く、PPP/PFI手法の活用に際しても地元企業の協力は重要。地元企業にとってPPP/PFI手法の受託実績をつくる機会にもなることが想定される。
- PPP/PFI手法の対象業務に地元企業が関与する場合は、地元企業への配慮・対策として、地元企業とのJVを参加要件とする、地元企業の活用を提案評価の加点要素にするなどが一般的である。
- ただし、PPP/PFI手法を用いて広範囲な業務を委託する場合、地元企業の受注機会が下がる可能性を想定して、地元企業の活用等の観点から、業務の一部を対象外としている事例もある。この場合、一概に業務を対象外とすることにも留意が必要である。マーケットサウンディング等を通して地元企業の意向を確認するなどが考えられる。

□：導入検討開始時点 □：入札・公募開始時点
【イメージ】
任意にA処理区を選択

地方公共団体（管理者）

A処理区	対象施設	維持管理	更新計画案作成
対象施設	処	ボ	管
業務範囲	維持管理	更新計画案作成	
管理者の 任意	CM	更新（改築）	

B処理区

B処理区	対象施設	維持管理	更新計画案作成
対象施設	処	ボ	管
業務範囲	維持管理	更新計画案作成	
管理者の 任意	CM	更新（改築）	

客観的な事情

出典：下水道分野におけるウォーターPPPガイドライン 第2.0版

21

3.アンケート調査票の内容について

アンケート調査票の内容

1. 貴社について

⇒回答者の情報についてお聞きします

2. ウォーターPPPへの関心

⇒ウォーターPPPへの関心や一般的な事項についてご意見をお聞きします。

3. 対象事業について

⇒主に公共下水道と農業集落排水事業の他分野連携についての
ご意見をお聞きします。

4. 対象施設について

⇒対象施設（処理場、マンホールポンプ、真空式下水道システム、管路）
についてのご意見をお聞きします。

5. 対象業務について

⇒個別の業務について、来年度以降の検討に向けて
ご意見をお聞きします。

6. 事業への参画意欲について

⇒主に本事業への参画意欲についてお伺いします。

3.アンケート調査の概要

アンケート調査の概要

概要	
URL	https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000077739.html
HP公表日	令和8年1月30日（金）
回答期限	令和8年2月16日（月）
回答方法	選択式又は記入式 ※PDF変換は行わず、エクセルデータの状態でご提出ください
アンケート結果 公表日	令和8年3月中旬以降

3.本調査に関するお問い合わせ先について

本調査に関するお問合せについては、以下までお願いします

※ メールでのお問合せをお願いします

回答には時間をいただく可能性があります

お問合せ先

岡山市下水道河川局施設部下水道施設管理課

担当：小林・三戸口

電話：086-803-1506

E-mail : shisetsukanri@city.okayama.jp

ご清聴ありがとうございました